

令和元年度第1回焼津市総合教育会議議事録(概要)

1 開催日時 令和元年6月25日(火) 午後3時24分から午後4時40分まで

2 会場 焼津市役所6階 603号室

3 出席者

(構成員)

市長 中野弘道

焼津市教育委員会

教育長 佐藤美代志

教育委員 大石智之 北川利男 奥川重子 山竹葉子

(関係者)

副市長 下山晃司

社会教育委員長 渡邊徹

政策企画課総務担当主幹 山下浩一

(事務局)

事務局長 岡村敏典、こども未来部長 渡辺晃子、教育総務課長 増田洋一

学校教育課長 近藤和人、社会教育課長 見崎孝之

こども相談センター所長 櫛田隆弘

学校教育課主席指導主事 多々良博之、学校教育課主席指導主事 寺尾正幸

教育総務課総務担当主幹 日下部充

4 協議事項

(1) 教育センター事業について

(2) 家庭教育と学校の問題について

(3) 防犯対策について

(4) 猛暑対策について(報告)

(5) その他

・令和元年度 小1サポーターの運用について

・令和元年度 焼津市の教育力向上

5 議事内容

別紙のとおり

<p>中野市長</p>	<p>【午後 3 時 24 分開会】</p> <p>(次第 1 開会)</p> <p>(次第 2 市長あいさつ)</p> <p>・この総合教育会議は、教育委員会と行政が教育施策の方向性を一致させ、より良い教育環境を目指すことを目的としている。「第 6 次焼津市総合計画」では、「子どもがいきいきと輝きみんなで教育・子育てを支えるまちづくり」を政策目標として掲げ、次の世代を担う子どもたちが夢や希望を持ち、いきいきと成長できるよう焼津市として、教育・学術・文化の振興に取り組んでいきたいと考えている。昨年度は、教育センター事業図書サービスの充実、文化振興計画策定及びスポーツ推進計画策定についてご協議いただいた。また臨時総合教育会議を開催し、小中学校の猛暑対策空調整備計画についても、ご意見をいただいた。本年度は、引き続き、教育センター事業について、より充実したものにしていこうご協議いただくとともに、新たに、家庭教育と学校の問題について、ご協議いただきたいと考えている。</p> <p>・今後とも総合教育会議という席で、これまで以上に教育委員会と市が連携・協力し、より良い焼津の教育の方向性を見出すことができるよう、積極的に取り組んでいきたいと考えているので、ご指導・ご鞭撻をお願いします。</p>
<p>岡村事務局長</p>	<p>(次第 3 協議事項)</p> <p>(1) 教育センター事業について</p> <p>(配付資料により説明)</p> <p>教育センター事業については、継続協議となる。事業としては、今年度 3 年目となり、年々充実している。教師力強化事業、授業・学習支援事業、外国語指導助手配置事業を 3 本柱として実施している。特に今年度、教師力強化事業については、教職経験 3 年目教員への訪問指導を新設した。授業・学習支援事業については、ステップアップ教室を昨年の 4 小学校から 8 小学校へ拡大した。サマーステップアップ教室については、小学校は昨年の 2 会場から 3 会場に、中学校は 1 校だったものが 5 校 4 会場に拡大した。外国語指導助手配置事業については、学校や市教委が直接 ALT と協議できる「派遣業務委託」に切り替えをした。この 3 本柱の事業についてより一層の充実を図っていく。</p> <p>○本市の教育課題と教育センター事業の今後の展開について</p> <p>1 本市の教育課題</p>
<p>近藤学校教育課長</p>	<p>(1) 不登校<不登校による欠席が 30 日以上の児童生徒数></p> <p>特に、小学校で急激に増加している。これだけ増えていることの 1 つの要因として、いじめと同じように積極的に不登校と認知して対応していることも挙げられるが、もうそれだけでは説明できないほどの増加となっており、より踏み込んだ対応が必要となる。</p>

(2)問題行動<問題行動件数>

- ・小学校は大幅に増加した。「生徒間暴力」「授業放棄・暴言」の増加が著しいが、特定の児童が繰り返し行っている傾向が見られる。発達に課題を抱える児童や人間関係を築くことが苦手な児童が、自分の思いをどのタイミングでどのように表現したらいいのか判断することができず、乱暴な行動に出てしまい、友達とトラブルになる傾向が見られる。
- ・中学校は昨年度とほぼ変わらない。平成 24・25 年度には 400 件以上あったことを考えると、長期的な視点では問題行動の減少傾向は続いており、市内全体が大変落ち着いた状況にあると言える。

(3)外国人児童生徒<外国人児童生徒数>

外国人児童生徒数が急激に増加し、この 5 年間で倍増している。さらに、本年度 4 月 1 日に改正入管法が施行されたことにより外国人労働者は今後ますます増え、それに伴い外国人児童生徒も増えていくことが予想される。外国人児童生徒支援員の登録数が、昨年度当初の 30 人から 41 人に増え、そのうち日本語教師資格所有者（所有予定も含む）も 6 人から 17 人に増え、充実が図られてきている。外国人児童生徒が学校に就学後、外国人児童生徒支援員が、4 ヶ月程度、毎日 2 時間、空き教室等を利用して、簡単な日本語や日本の生活・文化について指導を行う。4 ヶ月を過ぎても指導が必要な場合には、日本語指導や学習支援を継続し、悩み等の相談にも応じる。（学習言語が身につくには、5～8 年かかる。）

2 教育センター事業の今後の展開

教育センター設置の理念【焼津の教育力向上】をめざし、以下の事業について検討している。

(1)現行事業の継続

教師力強化、授業・学習支援、外国語指導助手配置の 3 事業は継続し、その内容の深化・充実を図る。

(2)教職員の力量向上

教師力強化事業をさらに深化・充実するために、教育センターにおいて、次のア～ウの事業について検討している。

ア 研修センターとしての機能の充実

イ 教職員等が自ら学ぶ自主講座等の計画・実施

ウ 最新の教育情報にふれ、教職員間の交流を進める場

(3)スクールサポート事業

本市の教育課題に対応し学校をサポートするために、次のア～ウの事業について検討している。

ア 不登校児童生徒への対応

イ 特別支援教育の推進

ウ 外国人児童生徒への支援

奥川委員	<p>大変充実して来ていることを本当にうれしく思います。市長をはじめ、行政の方々、担当者の並々ならぬ努力に支えられてのことだとありがたく思っています。教育センターの活動拠点はどこにあるのか。センター活動に従事する職員の数を教えていただきたい。</p>
近藤学校教育課長	<p>拠点としては、学校教育課フロアで担当主席指導主事、指導主事、指導員3人の合計5人がいます。今後、活動を展開して上で新たな広い場所が必要になってくるかと思えます。</p>
奥川委員	<p>今後の展開の中で、教職員の力量向上、情報を追うということは必要だと思う。研修を行う上で、現在の状況で可能かどうか。もう少し部屋が欲しいと思うが何とかならないものか。</p>
岡村事務局長	<p>令和3年5月に新庁舎オープンの予定になっている中、アトレ庁舎、大井川庁舎の利活用を検討しています。教育委員会としての構想は持っていますが、場所、必要な部屋数・規模、人員配置も含め検討しているところです。</p>
奥川委員	<p>ありがとうございます。教育センターの今後の展開の中で検討して欲しいことがある。「教職員が元気であることが、子どもたちが元気になる」と思っています。子どもと同時に教職員の問題も扱ってくれていることは重々承知していますが、学校内で解決できない問題を相談するところが、教育センターの中にあつたらいいと思う。教職員の精神面のケアをする担当が出来たらいいと思う。</p>
近藤学校教育課長	<p>現在、取り組んでいる中では若手職員（講師）に指導員が関わって、いろんなことの相談にのっています。そこの留まらず、全ての教職員が、教育センターがあることによって、元気になってケアができるようなセンターを作って行きたいと思えます。貴重な御意見ありがとうございます。</p>
北川委員	<p>教育センター事業は有意義な事業だと思う。着実に前進していることに心強く思う。やられていることだと思うが、事業評価の検証にも力を入れて欲しい。質問ですが、①事業全体を通しての課題 ②3年目の教員を対象にした研修で2年目の教員に対する内容と比べて重点的に行うもの ③学習支援を小学校8校で行うが残りの5校を実施する予定があるかどうか ④不登校における他の要因 ⑤土曜日や夜間を活用した自主的研修会や各種講座を計画・実施するが、人が集まるかどうか 以上の点について伺いたい。</p>

近藤学校教育課長	<p>① ステップアップ教室では、募集人数より希望人数が多かったが何とかやらせてもらっています。この2年間で各事業への要請が強くなって来ています。それに何とか答えて行きたいというのが今の課題です。</p> <p>② 昨年度、2年目教員でやった方を3年目という形で出来るので、昨年度指導した内容が今年度どの様に伸びてきているかということで、重点的に指導できるということでもあります。</p> <p>③ 是非やって行きたいと思っていますが、来年度13校出来るかという難しい面はあるかもしれませんが、実施できる範囲の中で13校実施できる形で進めていきたいと考えております。</p> <p>④ 一番多いのは、家庭に起因する課題であります。いろんなご家庭があり、保護者に対応していく事が一番大きな課題となっております。</p> <p>⑤ 富士市に視察に行つて来ました。大学の教授を呼んで行い、毎回結構な人数が集まっているようです。現場で教員が困っていることについて研修をやっていけば、数が集まって充実した研修ができるのかなと考えております。</p>
佐藤教育長	<p>不登校について状況を報告させてください。</p> <p>小学生は3クラスに1名、中学生は1クラスに1名ぐらいと思ってください。小学生は静岡市と同じぐらい、中学生は静岡市より焼津市の方が低い状態です。小学生は、県の平均と同じ状態です。全国的に小学生が、急に増えてきているのを大変心配しています。県教委が不登校の要因をまとめたものによると、小学生は家庭の要因が8、学校が6、その他が3となっております。家庭教育、子育て支援など社会のシステムを作って行かないと大変なのかなと感じがします。</p>
北川委員	<p>外国語指導やICTなど、きめ細かくニーズを把握してやっていただきたいと思ひます。期待しております。</p>
大石委員	<p>ステップアップ教室については、現時点では、学習のわからない児童・生徒をフォローアップしていく目的が強いと思ひ、充実して行くべきだと思ひ。底上げを十分にやってからの話になるが、個性を持った子の秀でた部分を伸ばすようなことも、このセンター事業の中で出来たらいいかなと理想として思ひ。教職員の力量向上については、プログラムの中に働き方改革に繋がるような指導を入れて、センター事業の目的の中に働き方改革というものを入れたらどうかと思ひております。是非、ご検討いただければと思ひます。</p>
中野市長	<p>貴重な御意見ありがとうございます。</p>

山竹委員	<p>(問題行動・不登校) 特定の子に対する対応、家庭に対する対応は、先生方がやる場所ではないと思います。専門性が必要となってくるので、別の部署と上手く連携を取ってもらえればと思います。</p>
近藤学校教育課長	<p>ありがとうございます。問題行動については、特定の子が何回も何回も繰り返し、件数となってきています。このような子たちに対応するには、特別支援の専門的な知識を持った方が必要だし、家庭に入っていくとなると福祉の専門的な知識を持った方が必要となるので、そういったことに教育センター・教育委員会としてどんなことができるか、今後検討してまいりたいと思います。</p>
岡村事務局長	<p>(2) 家庭教育と学校の問題について (配付資料により説明)</p> <p>昨年度第3回目の会議において、奥川委員より「不登校や給食費滞納など家庭に関わる問題を当時の家庭教育相談員さんがパイプ役となってきて、学校現場はたいへん助かった。」とのご意見もございました。近年、特に問題になっている、貧困や虐待、家庭に起因する不登校など家庭に関わる問題について、専門的な部署が対応することで、このような家庭・子どもを支援していこうということを検討している。つきましては、その対象となる家庭や子ども、子ども相談センター等との関わり、支援のイメージなど詳細について、説明する。</p>
近藤学校教育課長	<p>貧困や虐待、家庭に起因する不登校などの家庭に関わる問題に、専門的な部署が深く関わることで、適切な対応を図り解決につなげる。</p> <p>1 対象となる家庭及び保護者・児童生徒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的には、学校で対応困難な保護者へ対応する。 ・具体的対象者 <p>①子相C、児相へ通告するレベルではないが、養育環境に問題がある保護者・児童生徒</p> <p>②不登校の初期段階や、継続・長期化しているにもかかわらず適応指導教室や外部機関にもつなげていないケースの保護者・児童生徒</p> <p>③給食費等の滞納が常態化し、学校が働きかけに困難を感じる保護者</p> <p>④その他、学校の教育活動に支障が出るようなクレーム等を行う保護者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭の教育力により本事業の対象者を整理すると表のⅡグループの家庭となる。 <p>2 家庭の教育力による整理</p> <p>グループⅡ</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育への関心度：関心が低い 子どもの状況：問題がある 必要な支援：家庭教育学級の開催・参加の勧め、ケース会議の実施、家庭訪

<p>奥川委員</p>	<p>問による支援 3家庭・子ども支援のイメージ 学校からの要請により、学校及び家庭を訪問し、家庭・子ども支援を行う。</p> <p>大変大事なところに視点を当てて下さっているなど感じます。社会教育委員との意見交換会をした時に、いろんな分野の方が委員になっていただいていることがわかった。同じ教育委員会の土俵なので、社会教育委員会で話題になっていることなど、多面的に検討していただくことが、焼津市の子どもを元気にすることだと思います。</p>
<p>山竹委員</p>	<p>仕事から貧困、借金の相談を聞くことが多い。お金の問題に関しては、きちんと対処できれば解決ができるというのが原則だと思います。 金銭以外のものになってくると、なかなか解決が難しいんだろうと思います。</p>
<p>北川委員</p>	<p>家庭に関わる問題で、学校や教員の負担は相当大きいと思う。専門的な部署が関わることで、先生方が本来業務に集中できる環境を作ると共に解決を図っていくことは極めて大事なことはないかと思います。各部署の連携が一層求められるものだと思います。クレーム等の保護者への対応はどうされているのか、また、外国人児童・生徒の家庭への対応が大変ではないかと思いました。</p>
<p>近藤学校教育課長</p>	<p>何をもってクレームとするかは非常に難しいですが、学校では担任中心に丁寧に丁寧という対応をどの学校でもやっています。対応に非常に苦勞してしまうものについても、担任だけでなく、学年主任・教務主任・教頭・校長で対応することもあります。不登校につながって、子どもに影響が出てくることがあるので、保護者との信頼関係をつくっていくよう対応しています。 外国人の家庭については、外国人児童生徒支援員が上手に家庭にも関わってくれています。教育センター事業として扱っていく事でより充実を図って行きたいと考えております。</p>
<p>大石委員</p>	<p>窓口をつくることで、働き方改革に繋がり良い事業だと思います。家庭教育学級は平日やっていることが多い。時代が代わっていて、新たに始めるのであれば、グループⅡの人達もできるだけハードルが低く参加できるような家庭教育学級も新たに作る必要があるのではないかと思います。</p>
<p>見崎社会教育課長</p>	<p>ありがとうございます。年々、参加者も減少している傾向であります。学級にも参加できない方が家庭教育を学べる機会をつくって行きたいと考えておりますので、いろいろな御意見等お願いしたいと思います。</p>

佐藤教育長	<p>昔に比べて教員が初期対応出来ない環境になっている。教員に代わって行って、子どもと話をしてくれる人がいると、事が大きくならずに子どもを救うことが出来るかなと感じるものですから付け加えさせていただきました。</p>
中野市長	<p>協議事項（１）、（２）につきまして、貴重なご提案・御意見ありがとうございます。市としましても、教育センター事業につきましては、日本一の教育センターを目指すということを明言させていただいております。最初に機能をどうするかから立ち上げた経緯があります。今後の展開で検討するものが見えてきたので、新庁舎に含めて拠点をつくっていく方向性で思っているところであります。家庭での教育が少し薄れてきているので、社会で勉強をしていただくことが大切だと考えています。学校教育現場でご苦労されている対応をどうするかを専門の部署でどう検討するかを含めて前に進めていきたいなと思っているところであります。</p> <p>（３）防犯対策について （配付資料により説明）</p>
岡村事務局長	<p>大津市や川崎市の事件事故を受け、去る６月１７日と２１日に市長・副市長と校長会代表者との緊急の意見交換会を開催した。その中で、校長会の皆さまから出てきた意見をまとめたものを表にした。太字が主な項目となる。事件事故のこともあるが、「猛暑は災害である」という観点から猛暑対策についてもご意見をいただいた。まず、猛暑対策は、教室へのエアコン設置は完了したが、教室以外の多目的スペースへの設置、各階への冷水器設置というご意見。（ちなみにこの冷水器は、体育館への設置は今年度で全ての小中学校で完了する。）教室のエアコン整備の後には、体育館やグラウンドの暑さ対策ということで、まず体育館では、冷風機等の設置、グラウンドにおいてはミストや日除けとしての簡易テント、スプリンクラー設置というご意見。</p> <p>・安心・安全対策（防犯対策）</p> <p>設備については、交差点へのポール設置や事故多発箇所へのガードレール設置などのご意見。（これらハード対策については、教育委員会だけで対応できるものでもなく、警察や交通安全施設担当部署等との調整が必要となる。）備品関係では、防犯カメラの設置。現在、設置されている学校もあるが、未設置が小学校４校、中学校４校ある。全部の小中学校に設置されていることで犯罪の抑止力になるのではないかと、また、万が一犯罪が起こっても警察等への捜査に協力できるのではないかとのご意見。また、部署・人材では現在、各小中学校で活動いただいている見守り隊について、自治会から出ている方、PTAから出ている方、民生児童委員の方、地域の有志の方、祖父母など様々な方がいる中で、全体を総括するような仕組みが必要では、というような意見。安否確認システムの構築では、現在も「きずなネット」という一斉配信するシ</p>

	<p>ステがあるが、もう少しバージョンアップしたシステムの構築をというご意見。以上、校長会からのご意見として報告させていただく。</p>
北川委員	<p>幅広く対策されていることがよくわかり、ありがたい。特に、安心・安全対策には万全を期していただきたい。学校にガードマンの常駐との意見があるが、現状と今後について伺いたい。</p>
岡村事務局長	<p>現在、学校にガードマンが駐在している所はございません。校長会からの要望の一つということになります。</p>
大石委員	<p>表の太字とそうでないところの意味はあるのでしょうか。</p>
増田教育総務課長	<p>意見交換会の中で、直接意見として出していただいたのが太字で、意見交換会開催にあたり、要望事項として提出された資料に記載された項目が細字のもので、整理をさせていただいております。</p>
大石委員	<p>ありがとうございます。校長先生方の切実な思いだと思います。それぞれに、優先順位をつけて、やっけて行くべきかと思いました。5月の小学校の運動会において、暑い中、子どもたちがテントの中で待機しているのを目の当たりにして、テントは必要かなと思いました。防犯カメラについても、未設置の所は急がなければいけないのかなという気がします。</p>
中野市長	<p>要望を校長先生にまとめていただいて、更なる、安心・安全をできる形を検討しているところです。現在、学校環境整備における「にこにこ元気計画」をローリングしています。ロッカー改修、トイレ改修や空調整備以外で、猛暑災害、安心・安全対策を早めに順序をつけて、やれるところは6月補正を含めて、やれる体制になればと検討させていただいているところであります。よろしく申し上げます。</p>
岡村事務局長	<p>(4) 猛暑対策について (報告) (配付資料により説明)</p> <p>昨年7月30日の臨時校長会、そして8月1日の臨時総合教育会議でもご議論いただきましたいわゆる全小中学校へのエアコン設置ですが、9月議会、11月議会を経て、平成30年12月17日に本契約を締結し、事業を進めてまいりました。そして、業者の皆さまには、何とか梅雨前までに設置が完了するようがんばっていただきまして、先月5月30日、小中一斉に運転開始宣言を行うことができた。普通教室365、特別教室171、その他78の計614教室に設置した。学校現場からも、子どもたちがたいへん喜んでいとの報告をいただいて</p>

	<p>いる。その他、テストの時、特に英語のリスニングなども新幹線や東名高速道路の音を気にしないで快適に実施できた。火を使用する理科の実験も窓からの風を気にしないで安全に行うことができた。それから、小学校の運動会では、昼の休憩時に子どもと保護者が一緒に教室に入って昼食を取りながら体を冷やすことができた等々、評価をいただいている。我々も現場で、子どもたちの笑顔を見てたいへん嬉しくなった。</p>
<p>近藤学校教育課長</p>	<p>(5) その他 (配付資料により報告)</p>
	<p>○令和元年度小1サポーターの運用について 2人以上の配置によって、勤務時間（1人 4時間/日）を設定し、1年生の生活時間帯をサポートすることが可能となる。なお、各学校や各クラスの実態、その時の状況に応じて弾力的に運用していく。</p> <p>○令和元年度焼津市の教育力向上について 一目でわかる、一覧表となっている。本年度の重点となる、教育施策の種目別に示してある。「各種支援員等の手厚い人的配置」は他市に類をみない、大変手厚い人的配置になっている。充実が図られてきているが、数を増やすだけでなく、質的な向上を図るよう働きかけることで、更なる充実を図っていきたいと考えている。</p>
<p>北川委員</p>	<p>「特別支援教育の推進」だけがUPでないが、体制、人、予算の問題でUPできない要因があるのかなと思ったので、お話しをさせていただきました。</p>
<p>奥川委員</p>	<p>小1サポーターの運用について、お礼を申し上げます。新聞記事が出た時に友人が、「焼津市がやってくれてることで、他市が必要性感じ動き出し、真剣に考えてくれることになる」と言いました。「大変お金がかかる問題だとは思いますが、よくぞ踏み切ってくれた」という声が自分たちの周りにたくさん届いているのでお伝えいたします。ありがとうございます。</p>
<p>中野市長</p>	<p>貴重な御意見を発表していただきありがとうございます。 これだけ進んでいるのも、教育委員の皆さん、総合教育会議で後押しして下さったこと、多くの皆さんにご支援していただきこのような形になりましたので、本当にありがたく思います。</p>
<p>中野市長</p>	<p>協議事項は次回、具体的な取組などを事務局から提示してもらうことになる。</p>

<p>岡村事務局長</p> <p>中野市長</p>	<p>(次第4 連絡事項)</p> <p>次回開催予定時期を説明</p> <p>(配付資料 資料5により説明)</p> <ul style="list-style-type: none">・本年度の総合教育会議は3回を予定している。・次回は10月31日(木)午後3時から開催し、協議事項の中間報告を行う。・第3回目の会議は2月21日を計画している。 <p>(次第5 閉会)</p> <p>【午後4時40分閉会】</p>
---------------------------	---